

## 小中学生向けがん教育教材（案）

### 1 教材のねらい

近年、「一生のうちに2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡する」と言われており、基本的な生活習慣が身につく子どもの時期からがんの予防や定期的な検診によるがんの早期発見・早期治療の有効性について学習することは非常に重要である。

また、初期のがんの治癒率は非常に高い水準となっており、もはや「不治の病」ではないがんという病気そのものに対する理解や、がん患者に対する理解を進め、「がんになっても安心して暮らせる社会」を構築することが課題となっている。

こうした現状を踏まえ、県内の小中学生等を対象にがんに関する正しい知識の普及啓発を行う「がん教育」を実施するに当たって使用する教材を策定するもの。

### 2 スケジュール

平成26年	8月	平成26年度第1回宮城県がん対策推進協議会において編集方針等を報告
	10月	第1回宮城県がん教育教材編集会議開催
平成27年	1月	第2回宮城県がん教育教材編集会議開催
	2月	宮城県医療顧問による監修 平成26年度第2回宮城県がん対策推進協議会における教材内容の審議
	3月	宮城県がん診療連携協議会会員に対する意見照会、教材内容確定

### 3 教材内容

第1部	がんのことを知ろう	①がんはどんな病気か ②がんができるしくみ ③がんにならないために（予防について） ④がんになったら（治療法、緩和ケア、小児がんについて）
第2部	がんのことを考えよう	①がんになった人の体験談を聞こう （がん体験者のインタビューを動画で収録） ②体験談の感想を話し合おう〈グループワーク〉

※それぞれ45分授業での活用を想定。

### 4 教材の活用方法

平成27年度におけるがん教育出前講座事業のテキストとするとともに、教材データをウェブで公開し、教育委員会を通して各学校での活用を呼びかける。（教師用テキストを平成27年度に作成し、県教委主催の養護教諭向け研修会において配付。）